



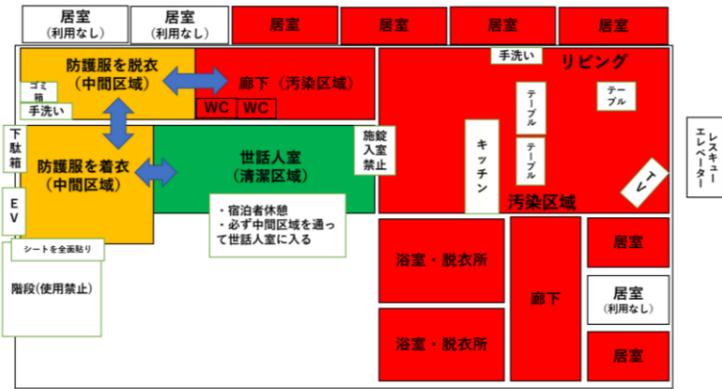
新型コロナウイルス感染(ニュンバ2階)の対応について 最終ご報告

新型コロナウイルスに感染された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

この度のグループホーム「ニュンバ」における新型コロナウイルス感染症の発生について、陽性となったメンバー6名の療養期間が終了し、12月19日(月)よりニュンバ2階は、全員そろって平常通り過ごしていただくことになりました。陽性判明後の対応はこれまでと異なって保健所等の指示を待つのではなく、自分たちで久留米市や福岡県のホームページから情報を収集、産業医に相談しながら対応を決めていきました。物資を運んだり、ご家族に連絡入れたり、刻々変わる状況に応じて適宜対応にあたったことで、スタッフには、コロナウイルスを外に持ち出さない、自分も感染しないという緊張感の中、さまざまな工夫も生まれました。対応したスタッフも17日(土)に検査を実施し、陰性を確認。メンバーおよびご家族の皆様には、ご心配をおかけいたしました。連絡がうまく行き届かずにご迷惑もおかけしましたが、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

12月11日(日)から17日(土)までのニュンバの様子を報告させていただきます。

【ゾーニング】感染拡大しないように区分けを行う。



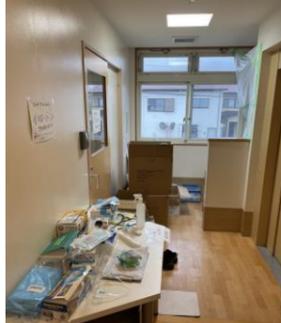
【スタッフ配置】

○対応するスタッフを5名に限定。防護服を着用し、入浴は、2日に1回にするなど、最小限の対応。陽性(無症状)であったスタッフの入室は、テラスに設置している緊急エレベータをかつよう活用するなど、中間区域を汚染しないようにしました。

【メンバーの様子】

○各居室で過ごしていただきました。看護師による体調管理を行い、必要に応じて医師に相談しています。外に出られないストレスもあったと思いますが、全員快方に向かい帰宅されました。

- ① 2階廊下入り口にシートを張り、防護服等の脱衣スペースを確保
- ② 階段入り口もシートを全面に張り使用禁止⇒1階と2階を遮断



新型コロナウイルス感染(夢工房)の対応について

12月15日(木)にスタッフ1名が発熱し、陽性が判明したことにより、夢工房は18日(日)まで閉所しました。19日(月)から夢工房の1階活動は通常再開し、陽性者と接触のあった2階活動のメンバーとスタッフは念のため抗原検査を実施しています。

【経過報告】

12/15(木)	○スタッフ1名⇒前日夜に発熱し、午前中に陽性が判明 ○午後から急きよ、法人負担による抗原定量検査を実施(メンバー13名、スタッフ12名) ⇒結果、メンバー3名の陽性が判明 ○翌日から18日(日)まで閉所を決定。
12/16(金)	○昨日欠席していたメンバー3名の抗原定量検査を実施 ⇒結果、3名は陰性を確認
12/19(月)	○陽性者と接触のあるメンバー6名、スタッフ8名の抗原定量検査を実施(3日待機後の検査) ○1階活動については、通常どおり再開

新型コロナウイルス感染症の検査について

○法人の判断によって実施する検査は、抗原定量検査(PCR検査同等)です。陽性となった場合は、通院していただき確定診断が必要となりますが、病院の検査結果が「陰性」となる場合があります。その場合は、3日待機後、念のため抗原定量検査を実施します。
○スタッフは、毎週1回PCR検査を実施しています。結果は、2日後になりますが無症状者の発見には有効な手段となっています。